草濫（そうらん）

No.280

図書委員広報班

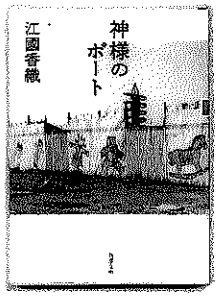
熊本県立熊本高校図書館

2008.6.24

新刊 ぞくぞく入荷中です☺

2,3年生のみなさん、お久しぶりです！ そして1年生のみなさん、初めまして！ 図書委員広報班が不定期に発行する「草濫」です。今回は、新刊をどどどーんと紹介します。しかし、ここでは紙面の都合上、全てをお伝えできませんw
なので、是非図書館へ足を運んでください👣
梅雨の時期の暇つぶしは、たくさんの本を読むことです☺

まずは…「数え方の辞典」（飯田朝子：著・小学館）です。「辞書!?」なんて思わないでください。数々の日本人のココロがつまってるんです!! 雑学王を目指すなら、読むべきですよ☆
では、ここで一問。"脂肪"の数え方は何でしょう？
（答えは、この本を借りて調べてみよう☺）



昔、ママは、骨ごと溶けるような恋をし、その結果あたしが生まれた…。恋愛の静かな狂気に囚われた母・葉子と、その傍らで成長していく娘・草子を描く「神様のボート」（江國香織著・新潮文庫）は、直木賞を受賞した著者、江國香織のみずみずしい感性からつむぎだされた作品。終わった後に胸がキュン♡となってしまいます。せつないこのキモチを是非あなたに!!

全12章から成る「チョコレートの真実」（キャロル・オフカ著 英治出版）はチョコレートを食べている私達の知らない裏の真実を教えてくれています。普段私たちが手軽においしく食べているチョコレートを作っている労働者は労働に見合う給料が払われているのか…。「真実」が投げかける問いが胸を打つノンフィクションです。

『QED 百人一首の呪』で第9回メフィスト賞を受賞した高田崇史の続刊である、『QED 鎌倉の闇』（講談社文庫）ニュータイプの推理小説に魅了されます!!!

「いわさきちひろ 知られざる愛の生涯」
天才画家いわさきちひろ。そのやさしい子どもの絵からはうかがいしれない鮮烈な人生があった。画家をめざした一人の女性の苦闘の姿を描いた一冊です。

「心霊探偵八雲」（神永学著）
生まれつき赤い左眼を持つ斉藤八雲。その赤い瞳は彼に死者の魂を見せる。次々と起こる事件を八雲の持つ力で解決していくというストーリーの本です。ホラーやミステリーが好きな人はぜひ読んでみて下さい。

「ぶらんこ乗り」（いしいしんじ著）
とっても頭が良くて、お話づくりの天才。ぶらんこが大好きで、好奇心旺盛。「私」は弟と過ごした日々を、「弟のノート」で思い出していく。彼が作る「お話」はどれも優しくて、どこか寂しい。そんな弟がつむいだ「お話」はある奇跡を作り出す。様々な困難に真剣に傷つき、そしてゆっくりと、それでも確かに乗り越えていった姉弟の物語です。

編集後記♡

今回は3人で製作しました。とても楽しくできたので良かったです！ 今回紹介した本は広報班のイチオシなのでぜひ読んでください(•∀•)b
では、また次の草濫で会いましょう！ Let's enjoy reading!!